記載例

様式第3 (第52条関係)

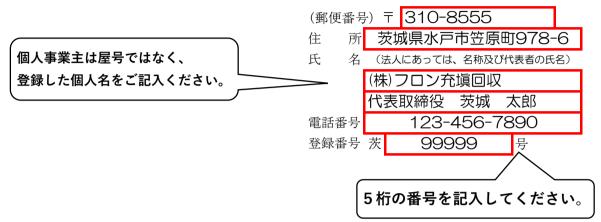
(令和 5 年度)

報告の対象期間が3月末までのため、 4月以降に作成してください。

第一種フロン類充塡回収業者のフロン類充塡量及び回収量等に関する報告書

令和 6 年 ●月 ●日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

【記入にあたっての注意点】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 別紙は、原則として、以下の数式となるようにすること。

CFC	2 + 3	=	4 + 5 + 6 + 7 + 8
HCFC	10 + 11	=	(12) + (13) + (14) + (15) + (16)
HFC	18 + 19	=	20 + 21 + 22 + 23 + 24

- 3 第49条第2号に該当する場合にあっては、引渡し及び返却の年月日、申請者の氏名又は 名称及び住所並びにフロン類の種類ごとの量を記載した書面を添付すること。
- 4 報告する数値は小数点以下第三位を四捨五入し、小数点以下第二位までを記載すること。

【担当者】

記載内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、ご記入ください。

所属	(株)フロン充塡回収 管理部			
氏名	茨城 太郎	日中連絡のとれる 電話番号	000-0000-0000	
		FAX番号	123-456-7890	

必ずご記入ください。

0.00 kg

0.00

kg

10.00

※1)整備(修理)等で、回収したフロンをそのまま全て再充塡した場合、 回収量及び充塡量は「O」kgとなり、台数のみカウントします。

31日現在の保

渡した量

(例) エアコン1台の修理の際、10kgのフロンを回収し、修理完了後回収したフロ $> 10 \log$ を同一のエアコンに戻した場合、**充塡量は「0 | kg、台数は1台**となります。

一部項目について

⑦第49条第1号に規定する者に引

⑧年度末に保管していた量(令和6年)

	中央日にライト				
項目番号	項目名	記入内容			
642	法第50条第1項ただし書の規 定により自ら再生し、充塡した フロン類の量	自ら回収したフロン類を分析機器を用いて正しく分析し、適切に再生したうえで、自らが充塡したもの。充塡した量として、①⑨⑰にも量を記入して下さい。回収したフロンを同一機器に戻し充塡する場合はこれに含めず、台数のみ記入する。(上記※1)			
71523	第49条第1号に規定する者に 引き渡した量	茨城県では当該事業者はありません。隣県が認めた事業 者に引き渡してください。			
81624	年度末に保管していた量	回収したフロン類のうち、令和6年3月31日現在で保管していた量です。 充塡のため新規に購入したフロンはこれに含めません。			